

シティプロモーション・スポーツ調査特別委員会 案件一覧

(令和6年3月1日開催分)

○付託議案審査 1件

部局	上 程 順	件 名	資料 番号	説明者 (所管課長名等)
経営部 企画部	1	第43号議案 大田区シティプロモーション戦略推進会議条例について	1	伊藤 広聴広報課長

○所管事務報告 8件

部局	報 告 順	件 名	資料 番号	説明者 (所管課長名等)
経営部 企画部	1	大田区シティプロモーション推進事業の進捗(令和5年12月・令和6年1月)等について	6	伊藤 広聴広報課長
スポーツ・文化・国際都市部	2	おおたランニングフェスティバル2024の実施結果について	20	千葉 スポーツ推進課長
	3	東京2020大会レガシー事業 令和5年度大田区ランニング教室(第三回)の実施結果について	21	
	4	第1回大田区立中学校部活動の地域連携・地域移行に関する検討会の開催報告について	22	
産業経済部	5	令和5年度大田区観光情報センターの取組について	16	小池 商業・観光振興担当課長
	6	令和5年度羽田空港「空の日」記念行事の実施報告について	17	
	7	大田観光協会事業「おおたオープンファクトリー2023」実施結果について	18	
	8	大田観光協会事業「おおたの桜を楽しもう2024」の実施について	19	

第43号議案 大田区シティプロモーション戦略推進会議条例について

1 条例制定の理由

令和5年度中に策定予定の新たな大田区基本構想（以下、「新基本構想」という。）において、区が目指す将来像を実現するための方針の一つとしてシティプロモーションの強化が位置付けられることとなった。一方で、区は、少子化問題などの区政課題に対し、子育てや教育の充実を図り、便利でにぎわいのあるまちづくりを推進していく局面を迎えている。また、令和5年度に、区は「SDGs 未来都市」及び「自治体 SDGs モデル事業」に選定され、SDGs 推進の取組にも注力している。

このような状況を踏まえ、令和6年度、大田区シティプロモーション戦略（以下、「戦略」という。）を新基本構想及び今後策定される大田区基本計画と整合性を持たせ、地域のブランディングを刷新し、国内外から「選ばれる自治体」となるための方針を示すものに改定するとともに、戦略の目標を達成するための具体的な取組を示すアクションプランを策定する必要がある。

戦略及びアクションプランの策定を検討し、今後の事業進捗を把握・検討する機能を持つ「大田区シティプロモーション戦略推進会議」を、区長の付属機関として設置し、より一層事業を強力に推進する。会議の設置・運営に関する必要な事項を定めるため、大田区シティプロモーション戦略推進会議条例を制定する。

2 制定内容

条例（案）のとおり

3 施行予定年月日

令和6年4月1日

第 43 号議案

大田区シティプロモーション戦略推進会議条例

上記の議案を提出する。

令和 6 年 2 月 15 日

提出者 大田区長 鈴木 晶 雅

大田区シティプロモーション戦略推進会議条例

(設置)

第 1 条 大田区シティプロモーション戦略等の策定のための検討を行うとともに、戦略等を踏まえてシティプロモーション推進事業の進捗状況を把握・検証し、もってより効果的かつ着実な同事業の推進を図るため、区長の附属機関として大田区シティプロモーション戦略推進会議（以下「推進会議」という。）を置く。

(所掌事項)

第 2 条 推進会議は、次に掲げる事項を調査審議し、区長に提言をする。

- (1) 大田区シティプロモーション戦略の策定に関する事項
- (2) シティプロモーション推進事業の効果検証に関する事項
- (3) 前号を踏まえ、シティプロモーション推進事業の推進に向けた方策の検討に関する事項
- (4) 次期プランの策定に関する事項
- (5) 前各号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

(組織)

第 3 条 推進会議は、次に掲げる者のうちから、区長が委嘱し、又は任命する 25 人以内の委員をもって組織する。

- (1) 学識経験者及び有識者
- (2) 関係機関、団体等から推薦を受けた者

(3) 区職員

(4) 前3号に掲げる者のほか、区長が必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は2年以内とし、委員が欠けた場合における後任の委員の任期は前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 推進会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、推進会議を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 推進会議は、会長が招集する。

2 推進会議は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 推進会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第7条 推進会議は、調査審議のため必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求めて、意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(委任)

第8条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

付 則

この条例は、令和6年4月1日から施行する。

(提案理由)

大田区シティプロモーション戦略推進会議を設置するため、条例を制定する必

要があるので、この案を提出する。

大田区シティプロモーション推進事業の進捗（令和5年12月・令和6年1月）等について

1 大田区シティプロモーション推進事業について

子育て世帯への魅力ある情報発信の一環として、公園の紹介を動画の活用により行うことや区内のイベント情報の発信などを強化している。また、区の花である梅の季節を国内外への魅力発信の好機ととらえ、庁内連携により発信している。区職員のシティプロモーションマインドの醸成については、引き続き職員研修において職員の熱意をかき立てるよう取り組んでいる。

2 大田区シティプロモーション公式サイト「ユニークおおた」及びSNSの実績

(1) サイトビュー数及びSNSフォロワー数（1月末日時点）

・専用サイト「ユニークおおた」の閲覧状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
総ビュー数	37,259	32,821	28,885	41,362	42,042	47,689	59,034	47,348	43,568	39,430

・SNSの状況（フォロワー数）

	3月 末日	6月 末日	7月 末日	8月 末日	9月 末日	10月 末日	11月 末日	12月 末日	1月 末日
X (旧 Twitter)	2,084	2,152 (23)	2,183 (31)	2,254 (71)	2,300 (46)	2,348 (48)	2,397 (49)	2,416 (19)	2,453 (37)
Instagram	978	1,007 (10)	1,034 (27)	1,080 (46)	1,156 (76)	1,197 (41)	1,265 (68)	1,278 (13)	1,303 (25)
Facebook	712	722 (3)	724 (2)	740 (16)	750 (10)	756 (6)	765 (9)	769 (4)	772 (3)

※カッコ内は前月比。6月末日時点は3月末日時点からの月平均。小数点以下を四捨五入

(2) 発信内容

・特集記事 7本。特集記事のほか145本の記事を投稿しました。

公開日	タイトル
5月26日	5月下旬から6月上旬が見ごろ「スカシユリ」を見に羽田へ遊びに行こう！
7月14日	地ビールでカンパイ！「大田区の地ビール」を訪ねる
8月25日	「都心でキャンプ」のレア体験～大田区の宿泊キャンプ施設に行ってみよう！
10月6日	食欲の秋にとんかつを 激戦区・大田区で揚げたてとんかつを食す！
11月10日	大田区福祉施設とアーティストをつなぐ プラサート（+ART）始動！
12月8日	大田区の銭湯でととのう！サウナのある銭湯の魅力
2月2日	発見！心のこもったものづくり 大田区ブランド“おおむすび”を調査！

(次頁あり)



3 「おおたくのすきなところ」動画作成について

昨年 11 月に開催された O T A ふれあいフェスタ 2023 において、来場者に「大田区の好きなおとく」をインタビューした際の映像を第一弾の動画として作成した。

(1) 発信方法

- ア 大田区公式 YouTube チャンネル
- イ ユニークおおたサイト及び SNS ほか



4 おおた写真ニュースのデジタル化について

区民の皆様は大田区や地域への関心を高めていただくために、区内で行われたイベント、区の実施のほかに旬の話題を写真で紹介しているおおた写真ニュースは、毎月 1 回 2 テーマを紙媒体により発信してきたが、今後紙媒体の発行を廃止し、区ホームページや区公式 SNS 等を活用したデジタルでの情報発信に変更する。

(1) 紙媒体の発行廃止時期

令和 6 年 4 月

おおたランニングフェスティバル 2024 の実施結果について

1 目的

東京 2020 大会により高まったスポーツへの関心をより一層向上させるとともに、区民がランニング・ジョギングに気軽に取り組むきっかけを作り、区民のスポーツ実施率の向上及び健康増進を図る。

2 実施状況

(1) 日時

令和6年2月17日(土) 午前10時00分～午後3時00分(天候:晴天)

(2) 会場

大田スタジアム及び大井ホッケー競技場サブピッチ

(3) 参加人数

延べ約5,400名(ランニング大会:約1,200名、サブイベント等:約4,200名)

3 内容

(1) ランニング大会

ファミリーラン、ジュニアラン、5kmラン、リレーマラソンの4種目で実施した。

(2) サブイベント

子どもが自由に遊べるキッズエリアのほか、ストラックアウト、ホッケー、フライングディスク、ボッチャ、モルック、Baseball15、スロージョギング及びバスケットボールのシュート体験等のスポーツ体験会やランニング教室を実施した。

応援ステージとして、ダブルダッチやチアリーディング等を披露していただいた。

(3) キッチンカー出店

区内事業者の5店舗が出店し、参加者に温かい食事や飲み物を提供した。

(4) 運営ボランティア

東京 2020 大会時に活動したおおたウェルカムボランティアなど計23名に従事いただいた。

(5) 協賛

区と包括連携協定を締結している企業や健康経営事業所など、区内事業者を中心に計13社にご協賛いただいた。

4 当日の様子



オープニングセレモニー



5 km ランスタート直後



ディスクゲッター

5 参加者の感想など

「楽しかった。」「今後も続けてほしい」「子どもと初めてランニングイベントに参加でき、思い出になった」「色々なサブイベントがあり、子どもと参加しやすい」という感想があった。

東京2020大会レガシー事業 令和5年度大田区ランニング教室(第三回)の実施結果について

1 実施概要

(1) 東京2020大会開催によるスポーツへの関心の高まりを受け、気軽に取り組めるスポーツとして人気のあるランニングの普及と区民のスポーツ実施率の向上と健康増進を図るためランニング教室を実施した。

(2) 日 時 令和6年2月17日(土) 午前10時30分～正午
(天候:晴天)

(3) 場 所 大井ホッケー競技場サブピッチ

(4) 参加人数 35名(男性18名、女性17名)

(5) 講 師 げんき〜ず 宇野 けんたろう氏 吉本興業(株)所属

2 教室の内容

大井ホッケー競技場サブピッチで、長く走るための靴紐の結び方の説明とストレッチを行い体を動きやすい状態にし、バランスの指導を受け、大井ホッケー競技場サブピッチ内を走行した。

3 参加者の感想など

「勉強になった。」「モチベーションが上がった。」という感想があった。



第1回大田区立中学校部活動の地域連携・地域移行に関する検討会の 開催報告について

第1回大田区立中学校部活動の地域連携・地域移行に関する検討会を、以下のとおり開催したので報告する。

1 概要

(1) 日時

令和5年12月22日（金）午後6時から

(2) 場所

大田区役所本庁舎 会議室

(3) 出席者

委員21名、事務局（スポーツ・文化・国際都市部、教育総務部）

2 議事

(1) 国・都の現状について

ア スポーツ庁・文化庁ガイドラインの概要

イ 東京都ガイドライン・推進計画の概要

(2) 大田区立中学校の部活動の現状について

ア 大田区立中学校部活動一覧（運動部、文化部）

イ 大田区の部活動を取り巻く状況

ウ 生徒および教員に対するアンケート調査結果の概要

(3) 大田区の地域資源について

ア 総合型地域スポーツクラブ一覧及び地域移行に関する調査結果

イ 大田区スポーツ協会加盟団体一覧

(4) 地域連携・地域移行のあり方について

ア 取組方針の策定

イ モデル事業の実施

(5) モデル事業に係る分科会について

ア メンバー・日程等

3 主な意見

(1) モデル事業に関する意見

- ・以下の2つの事業で実施することについて検討会委員の承認を得た。
 - ア ダンスチームを発足させ、外部講師を招いた「地域部活動（学校部活動から切り離れた地域クラブ活動）及び発表会の実施」
 - イ モデル校を複数校設定し、学校部活動を地域スポーツクラブや民間事業者、教員、部活動指導員等を組み合わせて配置する「ハイブリッド型地域連携・地域移行の実施」
- ・トライアンドエラーを繰り返しながら、次の問題解決に向けての環境づくりが非常に大事ではないかと思う。

(2) 地域連携・地域移行全般に関する意見

- ・子どもたちが安全・安心に継続してできる環境づくりが大事だと思う。
- ・部活動には、こどもの健全育成や居場所づくりという要素がある。子どもたちが参加しやすい形をつくっていかれたらと思う。
- ・学校の部活動であれば、学校の先生が顧問をしているので、色んなことが相談できる。
- ・部活動は、中学校選びの基準にもなるため、今までよりも充実した指導が受けられるようなものが地域にあれば、大田区に子育て世帯を呼び寄せられる可能性にもつながると思う。
- ・やりたい部活動があるのに、顧問がいらないからできないという現状もある。
- ・持続可能な部活動をやっていくという点で地域の力が必要になると思う。
- ・地域は人材の宝庫なので、地域の人や大学生を指導者として視野に入れられるとよいと思う。
- ・なぜ中学校の部活動を地域でやるのかという大義は、委員の皆様と意思疎通していきたい。
- ・地域連携と地域移行は全く違う概念なので、明確に分けて整理していただきたい。
- ・大田区は地域ごとに社会構造が違うので、大きいフォーマットも大事だが、各地域ごとのフォーマットをつくることも大事だと思う。
- ・平日と休日を切り離すのはなかなか難しいと思う。平日も休日も一緒に考えて、どういう指導者が受け持っていくのかということも考えていくのがよいと思う。
- ・お金の問題も発生してくると思うので、今後はその話題もできればと思う。
- ・地域も学校もお互いにWIN-WINの関係ができれば素晴らしいと思う。
- ・他の自治体の参考になるような取組ができるとよいと思う。

4 今後のスケジュール

第2回検討会：令和6年3月27日（水）

令和5年度大田区観光情報センターの取組について

1 今年度の状況

昨今のインバウンド需要の回復などに伴う人流の増加により、本センターにも観光案内目的の来館に加え、無料文化体験に興味を持った外国人が訪れるなどコロナ禍前の状況へ戻りつつある。また、区内製品の販売、イベントのほか季節感ある装飾を施すことで来館者に興味を持っていただける取組を進めてきた。

月	入館者数	外国人入館者数(比率)	販売額	無料文化体験人数
7月	3,036	403 (13.3%)	1,271,875 円	96
8月	3,067	288 (9.4%)	1,238,020 円	72
9月	3,021	269 (8.9%)	1,291,246 円	55
10月	4,450	377 (8.5%)	1,525,957 円	83
11月	4,127	336 (8.1%)	1,670,244 円	63
12月	6,218	373 (6.0%)	2,351,743 円	66

2 主な館内イベント

(1) おおたの夏のスイーツ特集 (7月10日から8月15日まで)

ア 出店店舗

御菓子司わたなべ(南馬込)、わらび餅専門店いいな(仲六郷)、大國屋(池上・多摩川)、パティスリーコリウール(下丸子)

イ 売上状況など

水羊羹や杏仁豆腐など計532点、13万円以上の売り上げがあった。

(2) 友好都市物産展(秋田県美郷町、宮城県東松島市)(8月19日から9月18日まで)

いぶりがっこやブルーインパルスグッズなど計344点、約15万円の売り上げがあった。

(3) 大田のドリップバックコーヒーの世界(9月23日から10月31日まで)

ア 出店店舗

HARA COFFEE ROASTERY(南雪谷)、pelican coffee(田園調布)、LOQUAT CoffeeRoaster(北嶺町)、マメーズ焙煎工房(蒲田)、Ariowl Coffee(田園調布)

※池上のノミガワスイーツの焼き菓子も同時販売

イ 売上状況など

全店舗が初出店で計1,071点、20万円近い売り上げがあった。



区内のコーヒー店を紹介

(4) ハロウィンスウィーツの販売 (10月13日から31日まで)

ア 出店店舗

御菓子司 玉川屋 (羽田)、五兎家 itsutoya (西蒲田) QOL Café Mam Aina (田園調布)、MEAL MAN (蒲田)

イ 売上状況など

ハロウィンバルーンアートの装飾を施すなど購買意欲を高める取り組みを実施し、計151点、5万円以上の売り上げがあった。

(5) 成田市と所沢市との連携事業 (11月25日から12月25日まで)

5月の成田詣、10月の所沢市民フェスティバルでの出店をきっかけに両市の紹介と特産品を販売



ハロウィン関連商品を充実



区内業者による館内装飾



航空関連自治体としての結び付きを強化

3 館外イベントの出店と協力

(1) 羽田神社例大祭でのインバウンドへの案内業務 (7月30日)

(2) HICity グランドオープンイベントでの観光案内・物販 (11月16日から19日まで)

(3) おおたイチ推しマルシェでの観光案内・物販 (11月25日から26日まで)

4 今後の運営方向性

(1) 羽田空港ターミナルからの誘導強化

(2) ホテル旅館組合や大田区商店街連合会等関係団体との連携強化

(3) 区内店舗の発掘・物販の拡充

令和5年度羽田空港「空の日」記念行事の実施報告について

羽田空港空の日フェスティバルは、従来航空会社が主体となり実施し、区としては平成26年度から連携事業として令和元年度まで「国際都市おおたフェスティバル in『空の日』羽田」を開催してきた。その後、コロナ禍の中止を経て、令和4年同様に令和5年度も羽田空港「空の日」記念行事実行委員会の一員として、地域の賑わいの創出と羽田空港との共存共栄を目的に空港ターミナルビルを会場として実施した。

1 日時

令和5年9月30日（土）午前10時から午後4時まで

2 場所

羽田空港旅客ターミナル、羽田エアポートガーデン等

3 参加企業・団体

主催は羽田空港「空の日」記念行事実行委員会

大田区や東京空港事務所、日本航空（株）、全日空（株）、京浜急行電鉄（株）

日本空港ビルデング（株）、住友不動産商業マネジメント等

全17団体で構成

4 実施結果

(1) 来場者数 約24,000人

（うち大田区ブースには約500人が来場）

(2) 主な実施内容

ア JAL、ソラシドエアによる折り紙飛行機教室

イ ANAによる仕事体験教室

ウ JAL及びANA格納庫見学（各社80名ずつ募集）

エ 東京出入国在留管理局による入国審査官体験（40名募集）

オ 各企業、団体のマスコットキャラクターによる

ターミナルビル内行進等



「空の日」フェスティバルチラシ



キャラクター行進

(3) 大田区ブースの実施内容

ア 場所

第3ターミナル5階 E▶DO HALL(イードウホール)

イ 内容

(ア) 大田観光協会によるはねぴょん×エアラインの特別デザインの、缶バッジ及び缶バッジキーホルダー制作のワークショップを実施

(イ) 国際都市おおた大使とのフリートーキングスペースの設置

ウ 参加者数

ワークショップ：457人、フリートーキング：約40人



缶バッジ作り



缶バッジキーホルダー(航空5社特別デザイン)



国際都市おおた大使とのトーク

5 今年度の総括

(1) 家族連れや航空業界ファンを中心に多くの来場があり、本イベントの人気の高さが改めて認識できた。

(2) 各ターミナルビル間の無料循環バスの活用により回遊の利便性が高まった。(便数については課題あり)

(3) 大田区ブースは、航空会社との本事業限定での企画ということもあり、満足度が高いとの意見を多数いただいた。



全体に1日を通じ賑わいがあった

6 今後の方向性

記念行事終了後、自治会連合会や関係団体で構成する大田区企画委員会を開催し、今年度の記念行事の実施結果の報告と次回(令和6年9月28日(土)(予定))に向けた意見交換を実施。

委員からは①目的の明確化、②子供たちへの訴求、③関係各社・機関との一層の連携による事業の充実等に関するご意見をいただいた。

大田観光協会事業「おおたオープンファクトリー2023」実施結果について

1 実施概要

- (1) 実施日
令和5年11月25日(土)
- (2) 主催
おおたオープンファクトリー実行委員会
- (3) 参加企業
56社(うち工場オープン23社)

2 実施企画

企画・会場	実施概要	参加企業数
工場オープン(新田丸)	工場の一般公開・加工及び制作体験等	20
工場オープン(テクノWING)	工場アパート内の各工場一般公開	4
i n n o b a 大田でお仕事体験	施設見学やワークショップ	1
おおたオープンファクトリー モノづくり体験ツアー(新田丸周辺)	新田神社の歴史紹介や周辺工場の見学 及びモノづくり体験	1
六郷BASE体験フェア 起業家のひみつ基地探検	入居企業の展示やワークショップ	11
第6回 まちこうばがやってくる!2023 (グランデュオ蒲田東西連絡通路)	展示やワークショップ	13
くりらぼ多摩川にて、ただいま製作中!	SCRAP(端材)、アーティスト作品 のマルシェやワークショップ	-
モノづくり縁日(工和会館)	工場のスクラップを使ったゲームや 体験型ワークショップ	-
2050年「ものづくりタウン」 大田区の風景(大森ロッヂ)	学生が工場の人と考えた未来の「もの づくりタウン」の理想の姿を展示	1
大田区工場廃材を活用したインスタレー ション作品『SCRAP SPACE』(大森ロッヂ)	工場から出た廃材を使用したインスタ レーション作品を展示	
チーム仲間まわしアンププロジェクト (KOCA)	町工場で働く若手有志チームが製作し たオーディオアンプの展示	1
町工場CMコンペ(オンライン)	町工場が制作した自社CMコンペ	4

3 今年度の特徴

(1) 工場磨き上げプロジェクト

学生チーム(横浜国立大学・東京都立大学・武蔵野美術大学)が各工場を取材し、工場の魅力発信、展示物・ディスプレイの方法等を提案

(2) まちこうばがやってくる

大森工場協会が主体で例年実施されている「まちこうばがやってくる」を、おおたオープンファクトリー内企画として、グランデュオ蒲田への出張型により実施

(3) i n n o b a 大田 (令和5年8月末竣工)

施設内の見学や入居企業によるワークショップを実施

4 参加者数

(1) 総来場者数 約3,200名

(2) 来場者属性 (アンケート抽出結果)

ア 居住地

【区内】約60% 【区外】約40%

イ 参加人数

【1人】約38% 【2~4人】約57% 【5人~】約5%

ウ 年代

【10~40代】約75% 【50代~】約25%

5 参加工場へのアンケートより要旨

(1) 事前の「参加に当たっての期待」に対し、約80%が「地域との交流」と回答

(2) 事後の「何が達成されたか」に対し、約90%が「地域との交流」と回答

(3) その他

- ・学生時代の文化祭の様に社内で準備が進められ、社員の結束が強まった。
- ・ボランティアの方との交流が良い経験となった。
- ・地域交流の点でも、非常に良いイベントとなった。
- ・初参加だったが、大変楽しかった。
- ・ねじの知らないことが自分も知ることができた。

6 参加者の声より要旨

(1) 大田のまちが好きになった、再度、訪れてみたくなった。

(2) 職人から技術や加工の話が聴くことができ、とても勉強になった。

(3) 1日しかないので、多く回ることができなかった。



新田丸 オープン工場



まちこうばがやってくる



くりらぼ多摩川



工和会館

大田観光協会事業 「おおたの桜を楽しもう 2024」の実施について

本事業は、桜を起点とした区内の回遊促進を目的として、毎年、開花時期に合わせて実施している。本年度は、昨年度荒天で中止となったツアーの実施や、パンフレットとホームページの連動強化により回遊性の向上を図る。

1 事業名称

「おおたの桜を楽しもう 2024」

2 概要（予定）

(1) 「おおたの桜を楽しもう 2024」パンフレットの発行

ア 作成部数

10,000部

イ 発行時期

3月5日（火）（予定）

ウ 内容

桜地図、さくらウォーク7コース、桜まつり・イベント情報等を掲載。

詳細はホームページで確認できるよう二次元コードで誘導



昨年度パンフレット

(2) 桜ツアーの実施

ア おおたの桜マラニックツアー

【日程】3月30日（土）

※荒天時は翌日に実施

【定員】20名（抽選）

イ 大森・馬込さんぽツアー

【日程】4月7日（日）

※馬込文士村大桜まつりに合わせて実施

【定員】30名

(3) 「みんなでつくるおおたの桜フォトギャラリー2024」の実施

ア 募集期間

3月15日（金）から4月10日（水）まで

イ 内容

(ア) 観光協会の特設ウェブサイト「みんなでつくるおおたの桜フォトギャラリー」の入力フォームへ「お気に入りの桜の写真」を投稿

(イ) 観光協会が同サイト上に投稿内容を公開。投票を募る

(ウ) 投票者には「はねぴょん×桜」グッズを、投票上位者には大田区にちなんだギフトを贈呈予定

(4) 特設ホームページに「桜めぐり特集」を掲載

ア 掲載期間

3月中旬～当面の間

イ 掲載スポット

馬込、大森駅西側～西馬込、池上、洗足池

3 広報（予定）

観光協会ホームページ、SNS、デジタルサイネージ及び大田区報3月11日号等